

検査・測定と評価 II

科目ナンバリング SPS-308

選択 2単位

佐保 泰明

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価の理論、スポーツ基本動作のバイオメカニクスとその動作を評価する視点を学ぶ。また、基本的な静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、スペシャルテストを実施できるようにする。

2. 授業の到達目標

- ・ アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価を説明できる。
- ・ スポーツ基本動作をバイオメカニクスの視点から説明でき、評価することができる。
- ・ 静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、スペシャルテストを実施できる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト30%、筆記試験70%で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本体育協会公認アスレティックトレーナーテキスト⑤検査・測定と評価

参考文献

新・徒手筋力検査法 原著第9版

Starkey C, Brown SD. Examination of orthopedic and athletic injuries. 4th ed. FA Davis Company

Prentice WE. Principles of athletic training: a guide to evidence-based clinical practice. 16th ed.

McGraw Hill Education

Magee DJ. Orthopedic physical assessment. 6th ed. Elsevier Saunders

5. 準備学修の内容

次の授業で行う検査・測定・評価項目について提示するのでレポートにまとめること。

6. その他履修上の注意事項

検査・測定と評価 I、バイオメカニクス I・II、アスレティックリハビリテーション概論を履修していることが望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | ガイダンス・オリエンテーション
アスレティックトレーナーに必要な評価について学ぶ |
| 【第2回】 | 姿勢・アライメント評価について学ぶ |
| 【第3回】 | 部位別アライメント評価について学ぶ |
| 【第4回】 | 関節可動域の測定方法について学ぶ(上肢・体幹) |
| 【第5回】 | 関節可動域の測定方法について学ぶ(下肢) |
| 【第6回】 | 徒手筋力検査法について学ぶ(上肢・体幹) |
| 【第7回】 | 徒手筋力検査法について学ぶ(下肢) |
| 【第8回】 | タイトネスと関節弛緩について学ぶ |
| 【第9回】 | スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(歩行・走行) |
| 【第10回】 | スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(方向転換動作・跳動作) |
| 【第11回】 | スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(投動作・あたり動作) |
| 【第12回】 | 動作とスポーツ外傷・障害の関連について学ぶ |
| 【第13回】 | special Test(上肢) |
| 【第14回】 | special Test(下肢) |
| 【第15回】 | まとめと試験 |